

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

I 本年度の方針

少子高齢・人口減少の進展、人と人とのつながりの希薄化、支え合いの仕組みの脆弱化など地域社会が大きく変化し続ける中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、住民が抱える課題は一層複合化・複雑化しており、地域を基盤として包括的な相談支援体制を整備することが喫緊の課題となっている。こうした中、国においては、持続可能な「全世代型社会保障」への改革を更に進めることとしており、コロナ禍での「新たな日常」を踏まえた上で、地域共生社会の実現に向け、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」が4月から施行されることとなった。

これらを踏まえ、本会では、市町村社会福祉協議会や社会福祉法人・施設等と協働し、ふくおかライフレスキュー事業や生活福祉資金貸付事業をはじめとした生活困窮者支援の強化、福祉サービス利用者の権利擁護体制の更なる充実など、全ての人が安心して暮らせる地域社会の構築に取り組む。

また、各社会福祉施設種別協議会等との連携のもと、福祉・介護分野の慢性的な人材不足の改善と福祉サービスの質を高めるため、各社会福祉法人・施設等の経営支援、福祉・介護分野への就業促進、施設従事者確保のための資金貸付、人材定着並びに従事者の資質向上の取組を強化する。

さらに、近年、大規模な自然災害が全国各地で頻発しており、防災・減災への取組をはじめ、被災後の円滑な復旧・復興対応に備えるなど、地域の防災力を強化するために、新たに本会に災害福祉支援センターを設置し、災害福祉支援ネットワークの構築事業（DWA Tの組成）並びに災害ボランティアセンター設置・運営訓練事業に取り組むとともに、平時から関係機関・団体と協働して被災地支援体制の整備・充実に努める。

社会福祉法人に求められる経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等適正な法人運営に引き続き取り組むとともに、これまでの実績や関係機関・団体等とのネットワークを活用し、県民福祉の向上のために各種事業の一層の充実に努める。

併せて、これらの取組を着実に実施するため、本会組織について体制を改め強化する。

Ⅱ 重点的に取り組む事項

1 地域共生社会を実現するための地域福祉の推進

(1) 市町村社会福祉協議会との連携・支援

市町村社会福祉協議会の役職員を対象とした階層別研修会を実施する。

また、社会福祉法改正に伴う重層的支援体制整備事業への対応等、地域福祉関連施策の情報収集・提供に努めるとともに、市町村社会福祉協議会がそれぞれの地域の中核となって地域福祉活動の充実が図られるよう、市町村社会福祉協議会との連携・支援の強化に努める。

(2) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

市町村社会福祉協議会をはじめとする関係機関・団体に対し、情報提供や活動支援を行い、ボランティア活動の振興を図る。

特に県下のボランティアが結集する「ふくおか“きずな”フェスティバル」の開催や、ボランティア活動団体への助成等、ボランティア活動支援のより一層の充実を図る。

さらに、本会が作成した福祉教育関連教材の更なる活用を図るとともに、学校・社会福祉協議会・地域・社会福祉施設等が緊密に連携した福祉教育を推進する。

(3) 民生委員・児童委員活動の支援

民生委員・児童委員制度を守り、発展させていくために、県民生委員児童委員協議会との連携を強化し、地域福祉活動推進の担い手としての民生委員・児童委員の活動を支援する。

また、民生委員・児童委員の活動に必要な知識や技術習得のための研修の充実を図る。

2 生活困窮者支援の取組強化

(1) コロナ禍における生活困窮者支援の取組強化

コロナ禍において、外出自粛や休業要請により、多くの県民が経済的困窮や社会的孤立に陥る中、社会福祉協議会をはじめ全ての社会福祉法人が連携して生活困窮者支援に主体的に取り組むとともに、その活動を充実・強化するよう各種会議や連絡会、研修会等を通じて要請する。

(2) ふくおかライフレスキュー事業の推進

地域における社会福祉法人・施設、市町村社会福祉協議会等の連携を強化し、それぞれの専門性を活かした支援ネットワークにより、生活困難者等に対する相談・支援事業を行う「ふくおかライフレスキュー事業」の県内全域での展開を目指すとともに、コロナ禍に対応した活動内容の充実を図る。

(3) 生活福祉資金貸付制度の適正な運営

コロナ禍の影響に留意しながら貸付申請内容の調査を徹底し、生活福祉資金貸付制度の適正な貸付・償還業務の運営に努めるとともに、生活困窮者自立支援制度による相談支援機関と密接な連携を図り、両制度がより効果的、効率的に機能するよう努める。

また、新型コロナ特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）について、引き続き総合支援資金延長貸付申請の審査を迅速に進めるとともに、国の方針に基づき適切に免除・償還業務を進め、生活困窮世帯の支援に取り組む。

さらに本年度末で新規申込が終了する福祉医療機構が実施する年金担保貸付事業の受け皿として生活福祉資金貸付が想定されており、その対応に向けて準備を進める。

3 社会福祉法人・施設の経営支援に関する取組

(1) 社会福祉法人・施設に対する研修等の充実

社会福祉法人制度改革、高齢者・障害者福祉の方向性や報酬改定、社会的養育の充実、防災・防犯対策など社会福祉法人・施設の経営に関する情報の収集・提供に努めるとともに、時宜に適した研修会を実施し、各社会福祉法人・施設を支援する。

(2) 社会福祉法人・施設の連携促進

生活困窮者の支援等、既存の制度や事業では対応できない課題に対応するため、規模の大小にかかわらず地域の社会福祉法人や様々な福祉サービス提供機関等が連携・協力し、各地域でふくおかライフレスキュー事業をはじめとした様々な支援ネットワークを構築し、それぞれの専門性を活かした相談・支援事業の取組を支援する。

4 権利擁護の総合的推進

(1) 判断能力が低下した県民への支援

日常生活自立支援事業の適正な運営と利用の拡大に努め、各市町村社会福祉協議会との連絡・調整を密にし、必要に応じ個別支援を行うとともに、成年後見制度との連携を深め、地域における総合的な権利擁護体制の構築に努める。

(2) 福祉サービス苦情解決事業の充実

福祉サービスに関する苦情解決を図ることを目的として本会に設置されている運営適正化委員会において、公正・中立な機関として、事業の適切な解決に努める。

(3) 福祉サービス評価事業の推進

福祉サービスの選択に有効な情報を利用者に提供するとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取組を促すことを目的とした第三者評価事業の推進に努める。

また、認知症対応型共同生活介護の外部評価実施機関として、外部評価事業の円滑な実施に努める。

5 災害時に備えた被災者支援活動の推進

(1) 災害福祉支援センターの新設

災害時の福祉的支援の総合化を図るために、県内、更には広域支援の拠点として「福岡県災害福祉支援センター」を設置する。

(2) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練等の実施

これまでの経験を踏まえ、福岡県内で同時に複数自治体が被災した場合の課題や対応策、災害ボランティアセンター運営の在り方等について協議・検討し、市町村社会福祉協議会との協働を含めた災害支援体制の推進を図る。

特に、災害時に市町村社会福祉協議会が円滑に災害ボランティアセンターを設置・運営できるよう、平時からの研修及び災害時の被災地支援を強化する。

(3) 災害派遣福祉チーム（DWA T）の派遣体制の充実

災害時要配慮者が、避難所において長期間避難生活を余儀なくされることにより、生活機能の低下や要介護度の重度化など、様々な二次被害が発生している。このため、一般避難所及び福祉避難所等で災害時要配慮者に対する福祉的支援を行う災害派遣福祉チーム（DWA T）を組成するとともに、発災時における速やかなチーム員派遣が可能となる体制を構築する。

6 福祉・介護人材の確保・定着・養成に向けた取組の推進

(1) 福祉・介護人材確保、定着のための事業の充実

慢性的な人材不足の解消を目的に、福祉人材情報システムを活用した無料職業紹介事業やハローワークでの出張相談等に積極的に取り組むとともに、福祉のしごと就職フェアを開催する。

また、社会福祉従事者のための福利厚生事業の推進・拡充に積極的に取り組む。

さらに、介護や保育の資格取得を目指す養成施設の学生に対する修学資金貸付事業や介護人材・保育士の再就職支援貸付事業等の効果的かつ適正な運営に努める。

(2) 介護人材養成・就職支援の充実

介護人材の確保を目的とした就職支援専門員を配置することにより、求職者に対するきめ細かな就職支援や職場体験の実施、求人事業所への採用活動アドバイス等を積極的に行う。

また、介護未経験者向けの入門的研修を引き続き開催し、介護人材の裾野の拡大、多様な人材の参入促進に努める。

(3) 社会福祉従事者に対する体系的な養成研修等の充実

福祉サービスの質の向上に資するとともに、福祉従事者の育成・定着を促進するため県委託研修事業をはじめとする福祉従事者を対象とした体系的な各種人材養成研修の充実に努める。

また、事業種別・職種を横断した各種研修を実施し、各施設・事業所における人材育成を支援する。

7 広報活動の充実・強化

本会広報誌「ふくおかのふくし」については、社会問題や地域課題が多様化していることを踏まえ、単なる情報提供にとどまらない積極的な課題提起を含めた誌面づくりを展開する。

また、地域福祉推進のための「社協通信」、障害者福祉推進のための「障がい者福祉情報」、本会ホームページ「ふくふくネット」について、その内容充実に努める。

8 組織・財政基盤の強化

年々本会を取り巻く環境が厳しさを増している中、職員の資質向上や自主財源の確保、資金の効果的な運用を図り、組織・財政基盤の強化に努める。

Ⅲ 事業実施計画

総務企画部 総務課

1 法人の運営

- (1) 評議員会・理事会・監事会の運営
- (2) 適正な法人事務事業の実施

2 常設委員会等の運営

- (1) 社会福祉基金運営委員会
- (2) 社会福祉総合基金運営委員会
- (3) 地域福祉基金運営委員会

3 広報活動の充実

- (1) 広報誌の発行
 - ① 広報誌「ふくおかのふくし」の作成・配布（年4回）
- (2) 本会ホームページの管理・運営
 - ① ホームページのリニューアルと内容の充実

【新規】

- (3) インターネットを活用した研修・会議の実施方法の検討

【重点】

4 組織・財政基盤方策の検討

- (1) 組織・財政基盤計画等に関する情報収集・検討

5 その他の事業

- (1) 福岡県社会福祉大会の開催
 - ① 社会福祉功労者等への表彰・感謝
- (2) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施
- (3) 共同募金事業への協力
- (4) 歳末たすけあい運動の実施
- (5) 衛生委員会の運営
- (6) クローバープラザ管理運営連絡調整会議の運営

総務企画部 財政課

【重点】

1 財政分析の強化

2 適正な法人会計・経理事務の実施

【重点】

3 適正な法人会計事務の支援

- (1) 社会福祉法人会計に関するセミナー等の開催
- (2) 市町村社会福祉協議会の会計事務に関する個別支援

地域福祉部 地域・ボランティアセンター

1 常設委員会の運営

- (1) 市町村社協委員会の運営
- (2) 福岡県ボランティアセンター運営委員会の運営

【重点】

2 市町村社会福祉協議会の支援

- (1) 階層別研修会等の開催
 - ① 会長・常務理事・事務局長会議の開催
 - ② 会長・常務理事・事務局長研修会の開催
 - ③ 管理職員研修会の開催
 - ④ 地域担当職員研修会の開催
- (2) 市町村社会福祉協議会との協働による地域共生社会を実現するための地域福祉活動の推進
 - ① 地域共生社会実現のための市町村社会福祉協議会モデル指定事業
(新規4か所)
- (3) 生活困窮者支援の取組の強化
 - ① 生活困窮者自立支援事業の受託推進
 - ② 生活困窮者支援に関する研修会の開催
- (4) 個別支援の実施
- (5) 情報提供等
 - ① 市町村社会福祉協議会便覧の作成
 - ② 社協通信の発行

【重点】

3 ボランティア活動の振興

- (1) 福祉教育の推進
 - ① 福祉教育読本・教材「ともに生きる」の無償配布、活用促進
 - ② 福祉教育セミナーの開催
 - ③ 福祉教育担当者会議の開催
 - ④ 福祉教育推進員連絡会議の開催
- (2) ふくおか“きずな”フェスティバルの開催
 - ① 実行委員会の企画・運営
 - ② 式典の開催
 - ③ 分科会、親子で楽しめるイベント等の開催
- (3) 地域ボランティア活動支援のための助成事業の実施
 - ① 助成事業審査委員会の運営
 - ② ボランティア活動団体への助成
- (4) SNSを活用したボランティア活動支援のための情報発信
- (5) ふくおか善意銀行の運営

【重点】

4 民生委員・児童委員活動の支援

- (1) 福岡県民生委員児童委員協議会の支援
 - ① 福岡県民生委員児童委員協議会との連携強化
 - ② 各種研修会の支援
- (2) 全国民生委員互助共励事業の実施
 - ① 互助事業の実施
 - ② 民生委員・児童委員活動に関する情報提供

5 第33回全国健康福祉祭り大会（ねんりんピック岐阜2021）選手派遣事業の実施

6 福岡県ねんりんスポーツ・文化祭事業の実施

- (1) 実行委員会の企画・運営
- (2) 式典の開催
- (3) 交流イベントの開催
- (4) スポーツイベントの開催
- (5) 文化イベントの開催

地域福祉部 権利擁護センター

1 常設委員会の運営

- (1) 日常生活自立支援事業契約締結審査会の運営
- (2) 運営適正化委員会の運営
- (3) 第三者評価機関認証委員会の運営

【重点】

2 日常生活自立支援事業の普及・推進

- (1) 関係機関との連携
 - ① 市町村社会福祉協議会との連携強化
 - ② 各種相談機関との連携強化
- (2) 事業実施体制の強化・人材育成
 - ① 専門員研修会の開催
 - ② 生活支援員研修会の開催
 - ③ 「日常生活自立支援事業 専門員だより」の発行
- (3) 業務支援システムの活用
 - ① 市町村社会福祉協議会への個別支援
- (4) 広報啓発の充実
 - ① パンフレットの作成・配布
- (5) 適正運営のための取組
 - ① 市町村社会福祉協議会に対する実地調査
 - ② 福岡県運営適正化委員会による調査への協力

【重点】

3 成年後見制度の利用促進

- (1) 研修・会議の開催
 - ① 基礎研修会の開催
 - ② 実践研修会の開催
 - ③ 法人後見受任社協等連絡会の開催
 - ④ 市民後見人養成研修会の開催

【新規】

(2) 関係機関との連携

- ① 福岡家庭裁判所、福岡県弁護士会・福岡県司法書士会・福岡県社会福祉士会との定例会議

【新規】

(3) 法人後見実施に向けた支援

- ① 市町村社会福祉協議会への個別支援

【重点】

4 運営適正化委員会事業の推進

- (1) 委員会の運営
 - ① 選考委員会の運営
 - ② 苦情解決小委員会の運営
 - ③ 運営監視小委員会の運営
- (2) 苦情解決業務の充実
 - ① 福祉サービスに関する苦情相談への対応力の向上
 - ② 巡回指導の実施

- (3) 運営監視業務の充実
 - ① 現地調査の実施
- (4) 広報・啓発活動の充実
 - ① ポスター・チラシ等の作成配布
- (5) 研修の実施
 - ① 苦情解決責任者、苦情受付担当者等を対象とした研修の実施

- 【重点】 5 福祉サービス第三者評価事業の推進**
- (1) 福祉サービス第三者評価推進機構の運営
 - (2) 委員会の運営
 - ① 第三者評価基準等委員会の運営
 - (3) 第三者評価基準の策定
 - (4) 評価結果の公表及び受審済証の交付
 - (5) 評価調査者養成研修の開催
 - (6) 評価調査者継続研修の開催

- 【重点】 6 地域密着型サービス外部評価事業の推進**
- (1) 評価機関業務の実施
 - (2) 委員会の運営
 - ① 外部評価審査委員会の運営
 - ② 外部評価審査委員会小委員会の運営
 - (3) 外部評価調査員のスキルアップに関すること
 - ① 評価調査員スキルアップ研修への評価調査員の派遣

地域福祉部 災害福祉支援センター

- 【重点・新規】 1 市町村社会福祉協議会の支援**
- (1) 災害時の取組の強化
 - ① 災害ボランティアセンター設置運営研修等支援事業
 - ② 福岡県総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施
 - ③ 公益社団法人日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会及びエフコープ生活協同組合との災害時相互協力協定に基づく連絡会議の開催

- 【重点・新規】 2 社会福祉法人・施設の支援**
- (1) 福岡県災害福祉支援ネットワークの構築
 - ① 福岡県災害福祉支援ネットワーク会議の開催
 - ② 災害派遣福祉チーム（DWA T）組成研修作業委員会の開催
 - ③ 災害派遣福祉チーム（DWA T）養成研修の開催
 - ④ 災害派遣福祉チーム（DWA T）フォローアップ研修の開催
 - ⑤ 災害派遣福祉チーム（DWA T）登録者名簿管理及び連絡体制の整備
 - (2) 災害時における本部体制の構築
 - ① 福岡県災害福祉支援ネットワーク本部の立ち上げ
 - ② 災害派遣福祉チーム（DWA T）派遣等

- 3 情報提供**
- (1) 災害救援情報の発行

地域福祉部 九州中国帰国者支援センター

1 九州中国帰国者支援・交流センターの運営

- (1) 日本語学習支援事業
 - ① 通学課程
 - ② 遠隔学習支援課程（スクーリング）
- (2) 生活相談・就職援助事業
- (3) 交流事業
 - ① 九州ブロック内中国帰国者交流会の実施
- (4) 介護支援事業
- (5) 地域支援事業
 - ① 九州ブロック内中国帰国者支援連絡会の開催
 - ② 地域における日本語教室開催支援事業
 - ③ ボランティア研修会の開催
- (6) 普及啓発事業
 - ① 中国残留邦人等への理解を深める普及啓発事業の実施
 - ② 地方自治体等に対する支援
- (7) 福岡県生活相談・ふれ愛電話事業
 - ① 中国語の通訳・翻訳を行う相談員による面接
 - ② 電話による相談

生活支援部 生活福祉資金課

1 常設委員会の運営

- (1) 生活福祉資金運営委員会の運営

【重点】

2 生活困窮者自立支援制度と連携した生活福祉資金貸付事業の推進

- (1) 貸付
 - ① 制度周知及び適正貸付の実施
 - ② 市町村社協担当職員事務説明会の実施
- (2) 償還
 - ① 初期滞納者への督促
 - ② 滞納世帯に対する自宅訪問の実施
 - ③ 行方不明世帯に対する追跡調査の実施
- (3) 期限後債権回収の取組
 - ① 滞納債務者への催告の実施
 - ② 法的手段（裁判所への支払督促申立）による適正な債権管理

3 不動産担保型生活資金貸付事業の推進

- (1) 高齢者世帯に対する居住用不動産の担保による生活資金貸付事業の推進
- (2) 制度周知と円滑な貸付事務の実施

4 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業の推進

- (1) 要保護世帯に対する居住用不動産の担保による生活資金貸付事業の推進

5 臨時特例つなぎ資金の貸付

- (1) 住居喪失者に対する臨時特例つなぎ資金の迅速な貸付

6 新型コロナ特例貸付への適切な対応

- (1) 総合支援資金特例貸付延長申請の迅速な審査
- (2) 償還免除申請の迅速かつ的確な審査
- (3) 来年度以降に償還が開始となる借受人への適切な対応

7 年金担保貸付事業終了に伴う対応

- (1) 福祉医療機構の年金担保貸付事業終了に伴う対応方策の検討

施設・人材・研修部 施設課

1 常設委員会の運営

- (1) 社会福祉施設委員会の運営

【重点】

2 社会福祉法人・施設の経営等に関する支援

- (1) 「ふくおかライフレスキュー事業」の推進
- (2) 小規模法人のネットワーク化による協働の推進
- (3) 地域における公益的な取組を含む社会福祉法人制度に関する情報収集・提供
- (4) 介護保険制度等の高齢者施策に関する情報収集・提供
- (5) 改正障害者総合支援法等の障害者施策に関する情報収集・提供
- (6) 子ども・子育て施策に関する情報収集・提供
- (7) 社会的養護の充実、第三者評価等に関する情報収集・提供
- (8) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施
- (9) 子どもの人権や被措置児童の虐待防止に関する情報収集・提供
- (10) 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する情報収集・提供
- (11) 障害者差別解消法や虐待防止に関する情報収集・提供
- (12) 障害者施設等で働く障害者の就労支援施策に関する情報収集・提供
- (13) 社会福祉施設職員等退職手当共済業務の実施及び制度に関する情報提供
- (14) 社会福祉法人の経営等に関するセミナーの開催

3 各社会福祉施設種別協議会等活動の支援

福岡県社会福祉法人経営者協議会
福岡県社会福祉法人経営青年会
福岡県乳児院協議会
福岡県児童養護施設協議会
福岡県母子生活支援施設協議会
福岡県身体障害者施設協議会
福岡県知的障がい者福祉協会
福岡県老人福祉施設協議会
福岡県婦人保護・救護施設協議会
福岡県社会就労センター協議会
福岡県保育協議会
福岡県里親会

施設・人材・研修部 福祉人材センター

1 常設委員会の運営

- (1) 福祉人材センター運営委員会の運営

2 福祉人材バンク事業の実施

- (1) 福祉人材情報の収集及び提供
- (2) 福祉人材無料職業紹介事業の推進
- (3) 福祉人材バンク（支所）との連携強化
- (4) 福祉人材情報システム「COOL システム」の積極的活用
- (5) 関係職業紹介機関との連携強化
- (6) 離職介護福祉士等届出事業の推進

【重点】

3 福祉人材開発事業の実施

- (1) 社会福祉施設への就労希望者に対する施設見学及び職場体験事業の実施
- (2) 「福祉のしごと就職フェア」の実施
- (3) 福祉人材養成機関との連携

【新規】

- (4) オンライン会議ツールを活用した求人・求職者のサポート

【重点】

4 福祉・介護人材確保、定着事業の実施

- (1) 社会福祉施設等の人材確保に係る相談事業の実施
- (2) ハローワークでの出張相談等の実施
- (3) 「福祉のしごと就職フェア」参加施設・事業所事前セミナーの実施

5 広報・啓発事業の実施

- (1) 福岡県福祉人材センターホームページ、広報誌「ふくおかのふくし」による広報・情報提供
- (2) ポスター・パンフレット・チラシ等の作成配布

【重点】

6 介護人材養成・就職支援・貸付事業の実施

- (1) 就職支援専門員による就職支援
- (2) 介護未経験者向けの入門的研修・職業紹介の一体的実施
- (3) 離職した介護福祉士等の届出制度を活用した再就職の促進

【重点】

- (4) 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

【重点】

- (5) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業の実施

【重点】

- (6) 保育士修学資金貸付事業の実施

【重点】

- (7) 保育士就職支援資金貸付事業の実施

【重点】

7 民間社会福祉施設等職員の福利厚生の実施強化

- (1) 福利厚生センターへの加入促進
- (2) 福利厚生センター事業メニューの実施強化

8 福祉教育の推進

- (1) 義務教育教員免許取得希望者に対する介護等体験調整事業の推進
- (2) 福祉教育用教材（車いす、高齢者疑似体験セット等）の貸出

9 福祉情報センターに関する事業

- (1) クローバーネット福祉情報提供システムの運営
- (2) 福祉関係図書・ビデオ等の閲覧・貸出
- (3) 各関係機関・団体の広報誌・機関誌等、資料の整備
- (4) 障がい者福祉専門委員会の開催

- (5) 情報紙「障がい者福祉情報」の発行（年3回）
- (6) 福岡県障がい者福祉情報ハンドブック2020の広報及び頒布
- 【新規】(7) 福岡県障がい者福祉情報ハンドブック2022の発行
- (8) ホームページの充実・インターネットと電子メール等による情報提供

施設・人材・研修部 福祉・介護研修センター

1 常設委員会の運営

- (1) 福祉人材センター研修事業運営委員会の運営
- (2) 介護実習・普及センター運営委員会の運営

【重点】

2 福祉人材養成研修事業の推進

- (1) 社会福祉施設関係役職員研修の実施

① 階層別研修

- ・ 新任職員研修
- ・ 中堅職員研修
- ・ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース
- ・ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース
- ・ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース
- ・ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース
- ・ ストレスマネジメント研修
- ・ リスクマネジメント研修
- ・ アンガーマネジメント研修
- ・ コーチング研修
- ・ 労務管理研修
- ・ 社会福祉法人監事及び会計責任者研修
- ・ 業務目標の設定・管理・達成研修
- ・ 利用者・家族とのコミュニケーション力向上研修
- ・ 接遇マナー向上研修
- ・ 説明力向上研修
- ・ 「報・連・相」強化研修
- ・ 業務改善研修

② 専門研修

- ・ ケアマネジャーのためのファシリテーション研修

③ テーマ別研修

- ・ 記録技術研修
- ・ 会計担当者研修
- ・ 広報力強化研修
- ・ 感染症予防研修

- (2) 資格取得研修の実施

① 高齢者権利擁護等推進研修

② 介護支援専門員研修

- ・ 介護支援専門員実務研修
- ・ 介護支援専門員専門研修（課程Ⅰ）・更新研修（前期）
- ・ 介護支援専門員専門研修（課程Ⅱ）・更新研修（後期）
- ・ 介護支援専門員更新研修（実務未経験者向け）・再研修
- ・ 主任介護支援専門員更新研修

③ 認知症介護実践者等養成事業

- ・ 認知症介護基礎研修
- ・ 認知症介護実践者研修

- ・ 認知症介護実践リーダー研修
- ・ 認知症対応型サービス事業開設者研修
- ・ 認知症対応型サービス事業管理者研修
- ・ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

(3) その他の研修

- ① 民生委員児童委員研修

3 介護実習・普及事業の推進

(1) 委員会の運営

- ① 研修専門部会の運営

(2) 高齢者介護意識の啓発

- ① 高齢者疑似体験、車いす体験
- ② 福祉用具見学コース

(3) 介護の知識及び技術の普及

- ① 介護予防講座
- ② 介護入門講座
- ③ テーマ別介護講座

(4) 認知症に関する知識及び介護の普及

- ① 認知症介護講座
- ② 認知症サポーター養成講座
- ③ キャラバンメイト養成研修

(5) 福祉関係職員等に必要な知識及び技術の普及

- ① 福祉用具・住宅改修研修
- ② 福祉用具・住宅改修研修（実践編）
- ③ 高齢者虐待防止に係る研修
- ④ 権利擁護に係る研修

4 福祉用具普及事業の推進

(1) 委員会の運営

- ① 福祉用具専門部会の運営

(2) 福祉用具展示事業の充実

(3) 福祉用具、住宅改造等に関する相談・助言

(4) 福祉用具の利用方法、利用手続き等の情報提供

- ① 介護職員のための福祉用具研修

5 広報・啓発事業の実施

(1) パンフレット「介護講座のご案内」作成・配布

(2) 福祉用具展示室広報チラシ作成・配布

(3) ホームページ、広報誌「ふくおかのふくし」による情報提供